

# 2012' 合格体験記

## 日本医科大学(医学部) 合格 亀山尚志 (常光小→城西川越中→城西川越高)

第一に、受験勉強は常に危機感を持ち、「志望大学にどうしても合格したいという信念」を持つ事が大切だと思います。僕自身も去年慶大(理工)に合格して気持ちが揺らぎましたが、医学部に対する思いが捨てきれず、「今年絶対合格してやる」という信念を貫き、結果を出す事が出来ました。

第二に、各科目の勉強アドバイスを記します。数学:公式を暗記するだけでなく、しっかりと定義を覚えてそれに則り自分で公式を導けるようにしておく必要があります。難関大ほど定義とかの基本的問題を好みます。これは多くの人が定義を覚えずに公式の暗記に走ってしまうという背景があるからだと思います。そして、出来なかった問題をチェックして出来るまで何回も繰り返してやる、塩田先生の言う「執念の練習」が大事です。英語:「ターゲット1900」の最初の基本英単語800語は完全に覚える必要があります。そうでないと読解に支障がでます。次に文法知識を深めて、長文の参考書(例えばZ会の「ディスコースマーカー」のように各パラグラフの関係が詳しく解説してあるもの)を熟読する事です。難大ほど長文化傾向にあるので、長文読解の対策は充分にしておく必要があります。物理:もう駿台出版の「物理入門」をきちんと理解しながら、自分で手を動かして計算を追って読破するに限ります。この本は僕のバイブルで、高校の授業では教えてくれない物理学の本質を原理・定理からしっかり教えてくれます。この本について行けばどの大学の試験も怖くありません。実際に僕も駿台模試で偏差値が50から70まで飛躍しました。化学:少し厄介な科目で、暗記すべき部分と計算を追って論理的に理解する部分があります。最初は東大ゼミの使う「チャート式」で基本を理解し、次に「重要問題集」等で演習を積んで下さい。量をこなした者が勝ちです。最後に、受験勉強とは何なのか?単に机に向かって勉強するだけのものなのなののでしょうか。僕自身は大人になるための一つの試練だと考えます。受験が近づくにつれ不安で誰もが逃げたくなります。しかし、そこで逃げたらこの先待ち受けている受験勉強よりもはるかに辛い様々な困難に立ち向かってはいけません。皆さんは受験勉強を乗り切る事で「辛い状況にも屈せず自分の力で困難を乗り越える事が出来たのだ」という自信を手に入れ大人になるための階段を昇り始めるのです。ですから、決して逃げたりせず最後まで全力で走り続けて下さい。

そうしたら、未来の自分に「あの時頑張っていた俺ありがとう」と大いに感謝してもらえはるはずで。

塩田先生、小学5年以来約10年間ほんとうにお世話になりました。今度は東大ゼミ講師で恩返しする番です。